



アーキテクチャ図

Amazon EKS on AWS Outposts ラック



Amazon EKS on AWS Outposts ラック: アーキテクチャ図

Copyright © 2026 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスは Amazon 以外の製品およびサービスに使用することはできません。また、お客様に誤解を与える可能性がある形式で、または Amazon の信用を損なう形式で使用することもできません。Amazon が所有していないその他のすべての商標は Amazon との提携、関連、支援関係の有無にかかわらず、それら該当する所有者の資産です。

Table of Contents

Amazon EKS on AWS Outposts ラック i

Amazon Elastic Kubernetes Service on AWS Outposts ラック 1

詳細情報 2

図の履歴 2

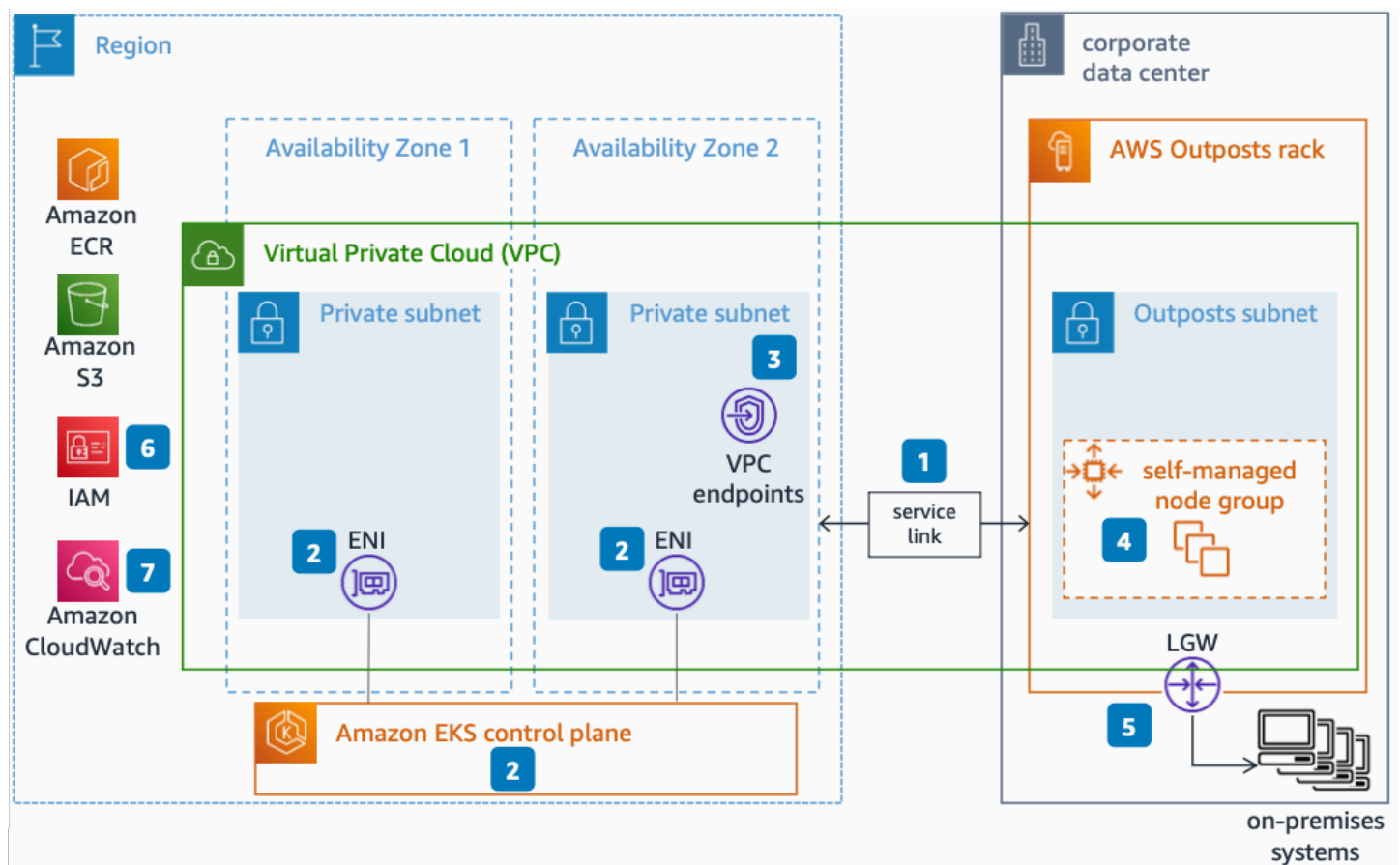
..... iv

Amazon Elastic Kubernetes Service on AWS Outposts ラック

公開日: 2022 年 10 月 31 日 ([図の履歴](#))

このリファレンスアーキテクチャ図は、[Amazon Elastic Kubernetes Service](#) (Amazon EKS) を [AWS Outposts](#) ラックにデプロイする方法を示しています。

Amazon Elastic Kubernetes Service on AWS Outposts ラック



1. AWS Outpost とその親リージョン間の信頼性の高いネットワーク接続を確保します。などの高可用性、低レイテンシーの接続<https://docs.aws.amazon.com/directconnect/latest/UserGuide/Welcome.html>。
2. プライベート Amazon EKS クラスターコントロールプレーンを作成し、Amazon EKS マネージド Elastic Network Interface (ENIs) を配置するリージョンのサブネットを選択します。

3. インターネットへのパスがないプライベートサブネットの場合は、[Amazon Elastic Compute Cloud](#) (Amazon EC2)、[Amazon Simple Storage Service](#) (Amazon S3)、Amazon Elastic Container Registry (Amazon ECR) の VPC エンドポイントを作成します。使用する予定の他の AWS サービスによっては、追加のエンドポイントが必要になる場合があります。
4. 前提条件に従って、AWS Outposts でセルフマネージド Amazon EKS ノードを作成します。
5. ローカルゲートウェイ (LGW) を介して Amazon EKS ノードをローカルネットワークに公開します。[ローカルゲートウェイの仕組みをご覧ください](#)。
6. [AWS Identity and Access Management](#) (IAM) を使用して、クラスターへのユーザーとロールのアクセスを管理します。
7. AWS Outposts は Amazon CloudWatch メトリクスをサポートしています。サポートされているメトリクスのリストについては、[AWS 「Outposts の CloudWatch メトリクス」](#) を参照してください。

詳細情報

詳細については、「」を参照してください。

- [AWS アーキテクチャアイコン](#)
- [AWS アーキテクチャセンター](#)
- [AWS Well-Architected](#)
- [AWS Outposts 製品ページ](#)

図の履歴

このリファレンスアーキテクチャ図の更新について通知を受け取るには、RSS フィードにサブスクライブします。

変更	説明	日付
初版発行	リファレンスアーキテクチャ図が最初に公開されました。	2022 年 10 月 31 日

 Note

RSS 更新をサブスクライブするには、使用しているブラウザで RSS プラグインが有効になっている必要があります。

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。